

# 貸借対照表

2021年 12月 31日 現在

クオン株式会社

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>【流動資産】</b>	888,352	<b>【流動負債】</b>	347,467
現金及び預金	707,515	買掛金	14,712
受取手形	32,217	短期借入金	155,000
売掛金	92,590	一年内返済長期借入金	97,024
たな卸資産	9,704	未払金	732
前払費用	42,679	未払費用	38,673
その他	3,644	未払法人税等	200
		預り金	5,892
		前受金	24,993
		賞与引当金	10,240
<b>【固定資産】</b>	23,836	<b>【固定負債】</b>	534,570
<b>【有形固定資産】</b>	3,454	長期借入金	534,570
建物附属設備	0		
工具器具備品	3,454	<b>負債合計</b>	882,037
<b>【無形固定資産】</b>	-	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	-	<b>【株主資本】</b>	26,401
		<b>【資本金】</b>	10,000
<b>【投資その他の資産】</b>	20,381	<b>【資本剰余金】</b>	449,085
出資金	20	資本準備金	90,000
差入保証金	16,695	その他資本剰余金	359,085
長期前払費用	2,675	<b>【利益剰余金】</b>	△ 432,683
その他	991	<b>【その他利益剰余金】</b>	△ 432,683
		繰越利益剰余金	△ 432,683
		(うち当期純損失)	(432,683)
		<b>【新株予約権】</b>	3,749
		<b>純資産合計</b>	30,150
<b>資産合計</b>	912,188	<b>負債・純資産合計</b>	912,188

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品…先入先出法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産…建物付属設備は、定額法、工具器具備品は、定率法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物付属設備15年

工具器具備品2～15年

(2) 無形固定資産…定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

#### 3. 引当金の計上基準

##### 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充てるため、当該事業年度における支給見込額に見合う金額を計上しております。

#### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

#### 5. 重要な会計方針の変更

該当する事項はございません。

### 貸借対照表等に関する注記

#### 1. 偶発債務

該当する事項はございません。

#### 2. 担保に供している資産および担保に係る債務

##### (1) 担保に供している資産

現金及び預金……………30,000千円

---

計……………30,000千円

##### (2) 担保に係る債務

短期借入金……………155,000千円

---

計……………155,000千円

#### 3. 有形固定資産の減価償却累計額

40,428千円

#### 4. 長期借入金

長期借入金のうち210,000千円については、日本政策金融公庫からの劣後特約付金銭消費貸借契約による借入であります。

関連当事者との取引に関する注記

1. 役員及び個人主要株主等

種類	氏名	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千 円) (注2)	科目	期末残高 (千 円)
役員	武田 隆	(被所有) 直接20.7%	当社代表取締役 債務被保証	当社借入に対す る債務被保証 (注1)	462,334	-	-

取引条件及び取引金額の決定方針等

(注1) 当社は金融機関からの借入に対して代表取締役武田隆より債務保証を受けております。なお、保証料の支払は行って  
おりません。

(注2) 取引金額には消費税等を含めておりません。

1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額

140円96銭

(2) 1株当たり当期純損失

△2,628円46銭

重要な後発事象に関する注記

該当する事項はございません。